

日本共産党杉並区議会議員

くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2014. 2. 23 NO. 155

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話・FAX 5932-6170
区議会控室 3312-2111(内)2319



区民の声を無視した施設再編整備計画は撤回を！ 第一回区議会定例会代表質問



2月13日に開会した第一回区議会定例会で、私くすやま美紀は、日本共産党区議団を代表して、予算編成方針・区長の政治姿勢について代表質問を行いました。

増税はきっぱり中止を！

円安による燃料や原材料の値上げ、賃金の減少、年金の引き上げなどで、区民のくらしは深刻です。こうしたなか、消費税増税が実施されれば、くらしも経済もどん底に突き落とされることは明らかです。国に対し、4月からの8%増税と2015年10月実施予定の10%増税の中止を求めるとともに、区として、国民健康保険料、後期高齢者医療保険料等の負担軽減を図

り、区民のくらしをまもるよう求めました。区長は「消費税増税は、少子高齢化と社会保障費の増大を踏まえれば避けて通れない重要な課題。国の動向を注視する」と、従来の答弁を繰り返しました。

あんさんぶる荻窪は 現在地で存続を

あんさんぶる荻窪の財産交換問題では、コミュニティや文化の形成に寄与してきたあんさんぶるの重要性について認識を質しましたが、区長は「多くの人々が利用している施設」と答えるにとどまり、住民合意のないまま、荻窪税務署等との財産交換の協議を進めるべきではないとの求めにも背を向けました。

登録団体の区立施設使用料半額制度の廃止によって、低所得者が使いにくくなり、活動の足をひっぱることになるのでは、との問いにも「受益者負担は当

然」と繰り返すのみでした。

公共施設は、住民の福祉の増進のために設けることとする」と定めた地方自治法の本旨に背く区長の姿勢が浮き彫りとなりました。

特養ホームは区内整備 に最大限の努力を

区は、南伊豆健康学園跡地を利用した特養ホーム整備を検討しています。しかし、当該地は南海トラフ地震に連動した津波の危険性が指摘されていること、多くの高齢者は、住み慣れた地域で終末を迎えたいと願っていることを考え合わせれば、区内での整備に最大限の力を尽くすべきであると指摘。公有地活用については、区もようやく乗り出す姿勢を見せてきていますが、規模と速度が不十分であり、情報収集、国や都との協議など、さらに積極的に取り組むよう求めました。

3月3日からは、予算特別委員会がはじまります。ひきつづき、区民のみなさんの切実な声を区政に届け、奮闘します。

お困りごと、ご相談は、上記連絡先まで、お気軽にお電話ください

保育待機児童解消に向けて 緊急対策を求める申し入れを実施

保育需要は増加の一途

杉並区の新年度の認可保育所第一次選考結果が示されました。昨年を上回る3257人が申し込み、認可保育園に1390人、区保育室に423人が内定、申請を取り下げた28人を除いた1416人が選考から漏れる結果となりました。選考から漏れた児童は、認証保育所等の認可外保育施設を探すこととなりますが、それさえも非常に厳しい状況です。

17日、乳児を背負った母親らが区役所前で集会を開き、「安心して預けられる認可保育所を増やして」と訴えました。21日には、区に行政不服審査法に基づく異議申し立てを行う予定です。

民間任せでなく、区の責任で整備を

田中区長は、認可保育所の整備方針を打ち出していますが、この間の区の認可保育所整備は、土地、物件持ち込みの公募方式で、事実上、民間（営利企業）任せとなっています。それでは整備が進まないのも当然です。代表質問で、認可保育所の増設は、民間任せでなく、土地の確保も含め、区が責任を持って進める姿勢に立つこと、今年度内の緊急対策を検討すべきと求めました。



議会質問に先立ち、日本共産党区議団は、2月5日、田中区長あてに、待機児童解消に向け、緊急対策の実施を求める要望書を提出しました。

都知事選挙 宇都宮けんじ氏大健闘

東京都知事選挙は、広範な市民・団体とともに、日本共産党が推薦した宇都宮けんじ候補が大健闘しましたが、あと一步、当選に届かず、勝利を手にすることができませんでした。

今回の選挙は、国政・都政に関わる様々な問題が争点となり、日本の行く末がかかった歴史的な選挙となりました。勝手連が立ち上がり、市民を中心とした選挙戦を展開。活発な取り組みが行なわれました。

その結果、杉並区の宇都宮候補の得票率は二十三区でトップとなり、広範な市民の共同が政治を変える大きな力となることを示しました。

選挙戦を通じて築かれた都民の共同は未来に繋がる大きな可能性を持っています。安倍暴走政治と対決し、住民が主人公の政治を実現するために、国民の共同をさらに広げることが重要になっています。

新春の集いが開かれました



2月11日（火）午後、くすやま美紀地域後援会の「新春のつどい」が開かれ、52名が参加しました。

都知事選挙のお礼と結果の報告や、後援会員のみなさんとの合唱などで盛り上がり、楽しいひとときを過ごしました。